※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１６

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「文学国語」　（大修館書店）						
副教材等	新訂版 最新国語便覧（浜島書店） シグマベスト リテラ 速読レッスン文学 Vol.2（文英堂） 書いて覚えて実践する 高校生の語彙と漢字 ゴイカン（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では「言語文化」の授業の発展として、随想、小説、詩、短歌・俳句などを教材として扱います。文章を通して、社会で生きる力を養ってください。また、作品当時の歴史や文化などを理解し、登場人物の心情や境遇を理解しましょう。予習は必要ありません。何度も何度も文章を読み直し、ノートやワークシートを見ながら復習をしてください。

２　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他社との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、わが国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他社や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期 前半	・自然や身近なできごとを描いた文章に触れ、文学に親しむ。 ［教材］ 『十八歳の選択』	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確にとらえている。 c：筆者のものの見方や考え方を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	・自分の体験や、その体験をとおして感じたことを伝える。 ［教材］ 体験に基づいて書く	a:情感の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c：自らの体験をとおして感じたことを、読み手に伝えることをふまえて書こうとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	ワークシート 観察
一学期 後半	・文体の特徴や語りの構造をとらえる。 ・登場人物の心情や境遇を理解する。 ［教材］ 『山月記』	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 b[読]：「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深める。 c：文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み、味わおうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	・詩の形式やリズムを味わう。 ・韻文の表現や効果について理解を深める。 ［教材］ 『永訣の朝』	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読みあじわおうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
二学期 前半	・短歌、俳句の形式やリズムを味わう。 ・韻文の表現や効果について理解を深める ［教材］ 短歌十三首 俳句十五首	a：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 b[読]：「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	・心情を伝えるために言葉を選び、表現を工夫する。 ［教材］ 心情を描写する	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：「書くこと」において、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c：心情を伝えるための表現の工夫をおさえ、読み手を意識して文章を書こうとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	・構成や表現効果に着目する。 ・寓意的な表現の意味を考える。 ［教材］ 『山椒魚』	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
二学期後半	・人物関係や人物の境遇と心情をおさえる。 ［教材］ 『こころ』	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c：登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
三学期	・舞台設定や時代背景をふまえて読む。 ・人物描写や表現効果に着目しながらテーマを考え、共有する。 ［教材］ 『美神』	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b：[読]：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして内容を解釈している。 c：舞台設定や時代背景をおさえ、作品のテーマについて考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	・幅広い視点で日本の言語文化の特徴をとらえる。 ［教材］ 『私の日本住居論』	a：文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b：[読]「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えをふかめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　15　）時間

・読むこと　…　（　55　）時間